

新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 2019 年度第 1 学期活動報告

<英語>

本稿では、2019 年度第 1 学期の FL-SALC における英語学習支援活動への参加者数、ならびに「英語チャット」参加者（主に日本人学生）および英語チューター（世界各地からの留学生）を対象としたアンケート調査の結果を報告する。今学期から、学生が参加しやすいよう、英語チャットを 3 レベルに分け、それぞれ目安となる TOEIC スコアを提示することにした。これが参加者増加の一因であったのではないかと考えられる。同時に、アンケート調査からはより少ない人数での会話を希望する参加者がいることがわかった。加えて、今年度は創生学部と連携して、予約作業が潤滑に行える FL-SALC 内にてデータ・サイエンス・センターを期間限定で試行的に開設することにした。

I. 活動参加者数

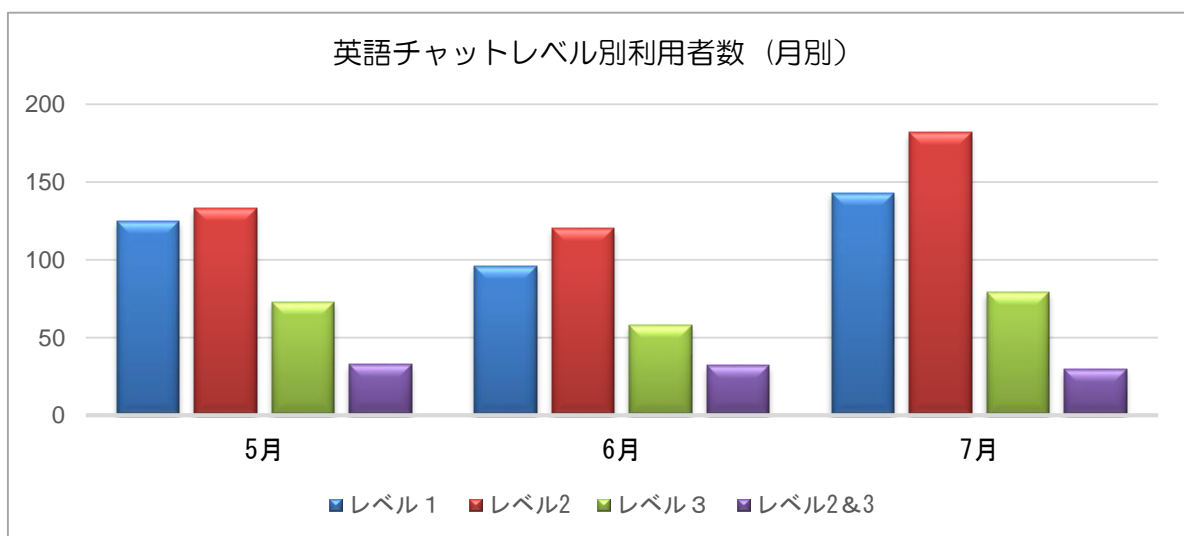
総数（延べ人数）1,682

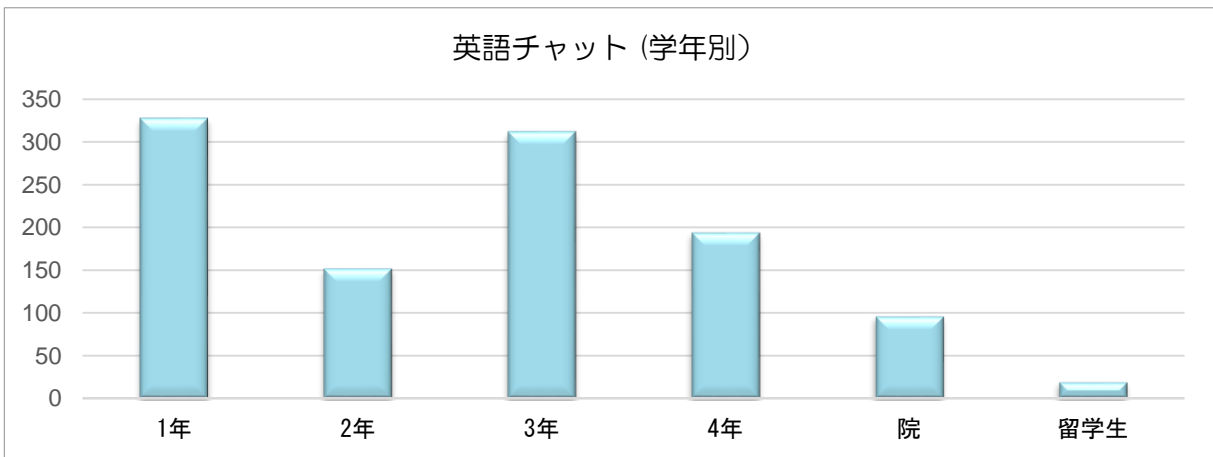
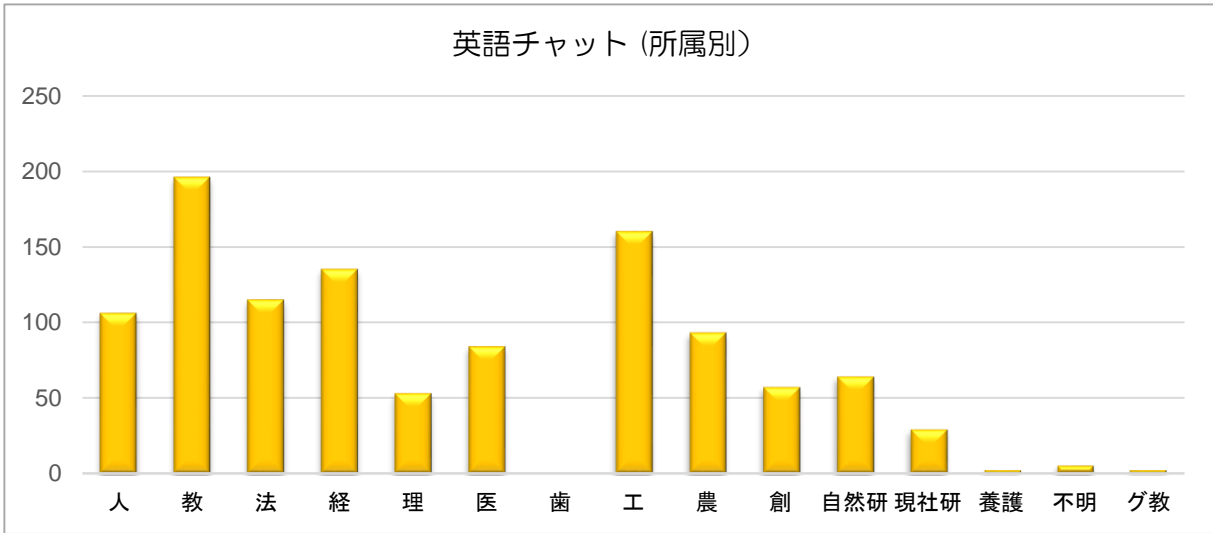
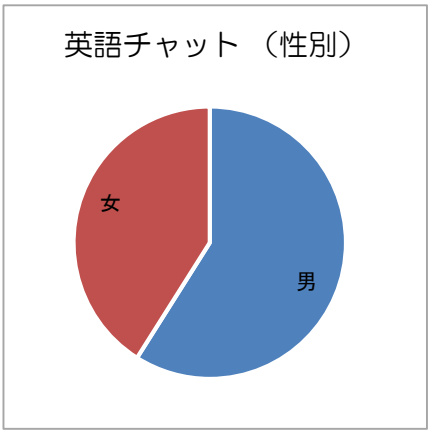
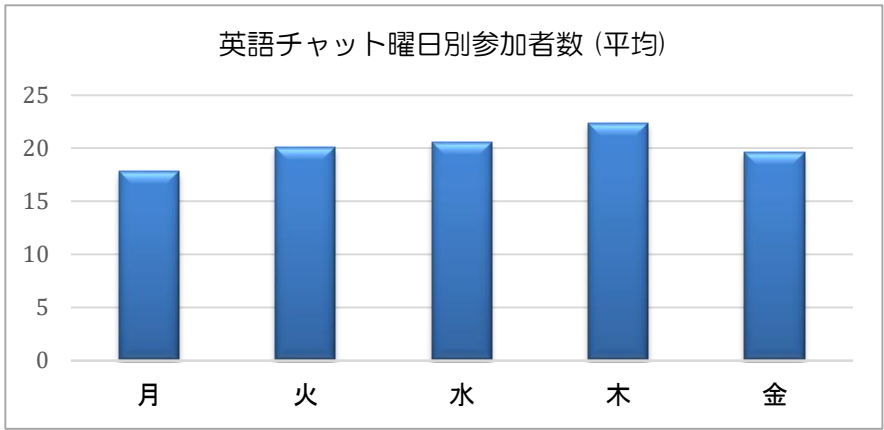
※授業期間中の活動：英語チャット 1,104、英語学習アドバイジング 76、英語学習チュートリアル 43、
Study Groups 208、アカデミック・ライティング・センター17、データ・センター27

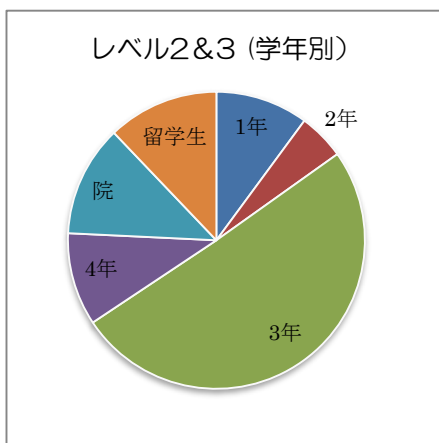
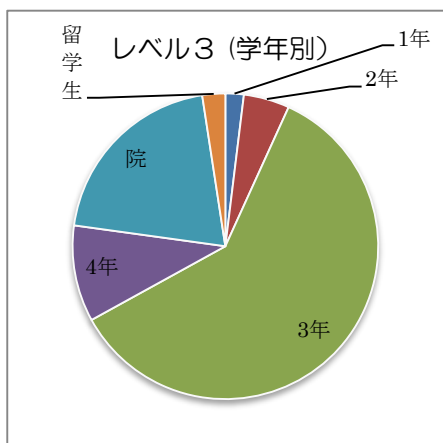
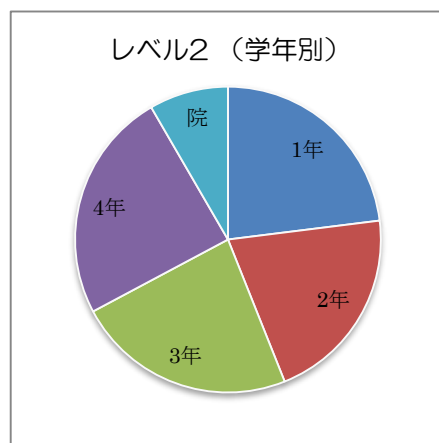
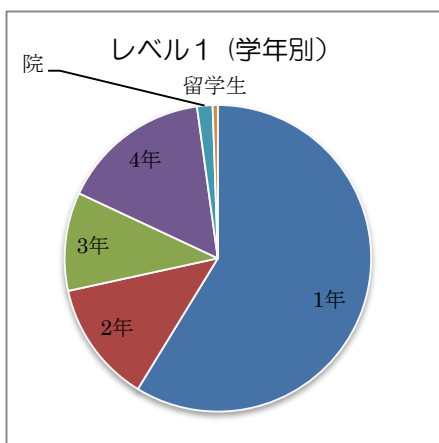
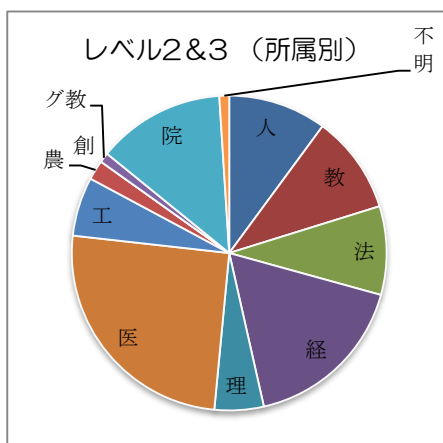
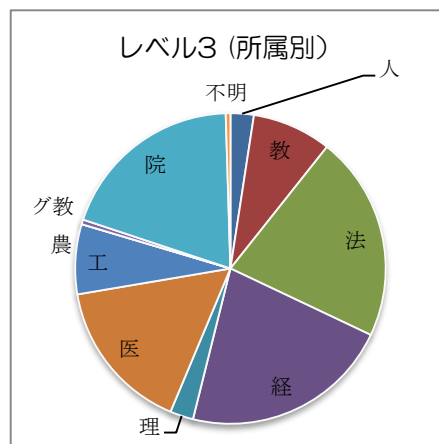
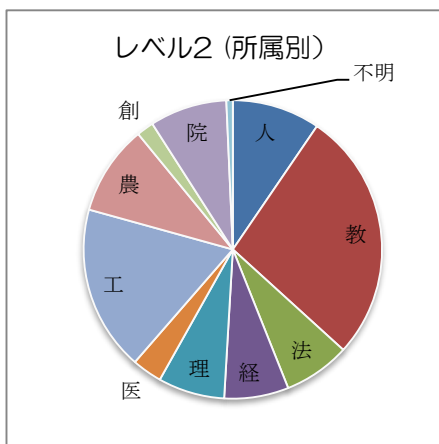
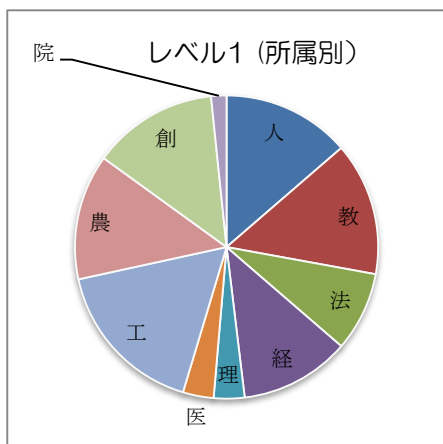
※授業期間後の活動：夏休みチャット 91、
オープンキャンパス・イベント 116

I. 授業期間中の活動（5月7日（火）～7月30日（火）学期末試験開始前日）

●英語チャット（2階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）

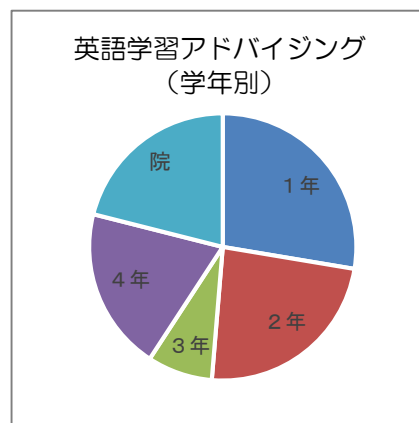
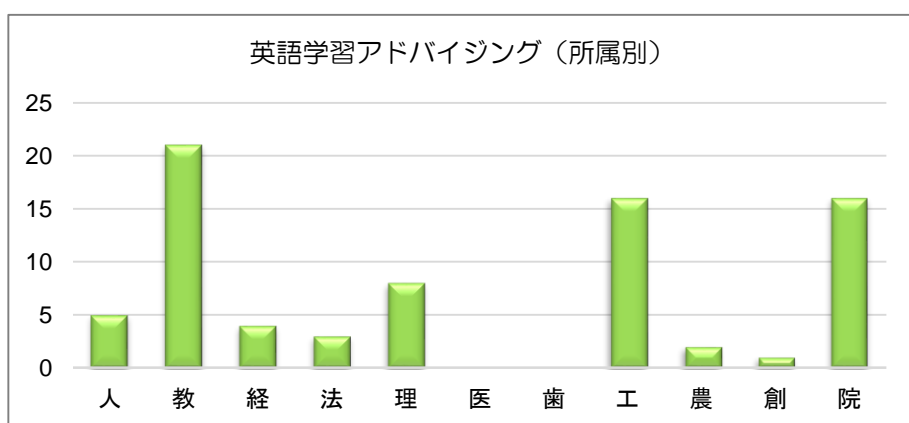
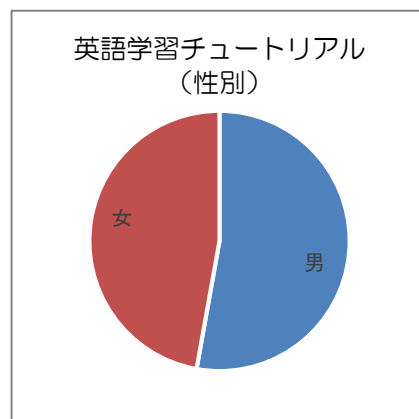
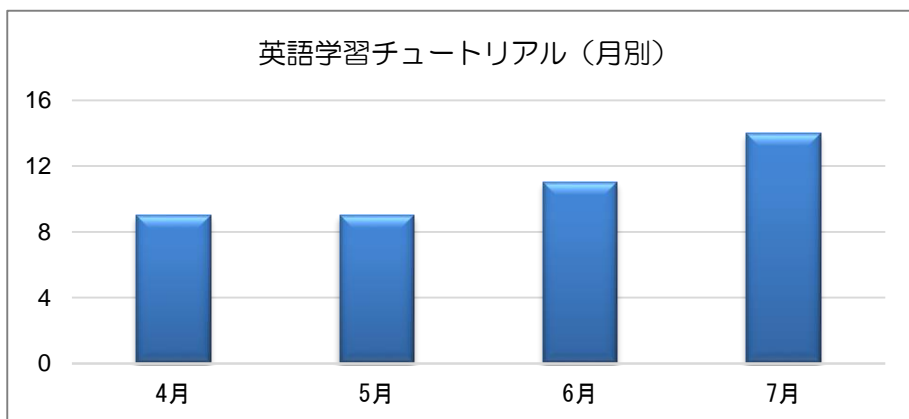
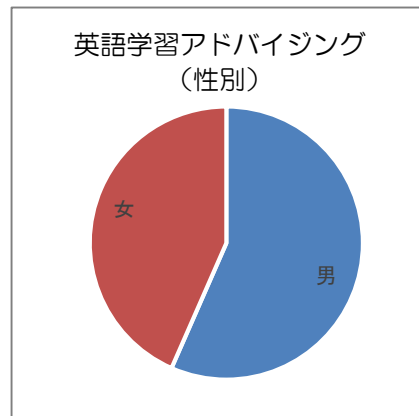
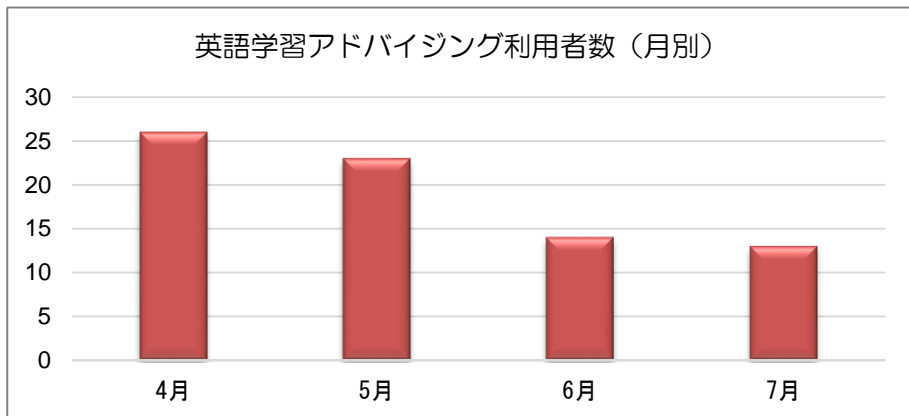


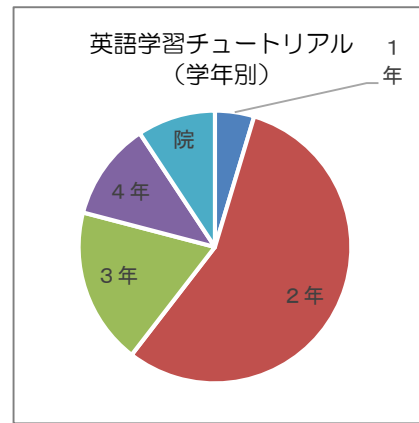
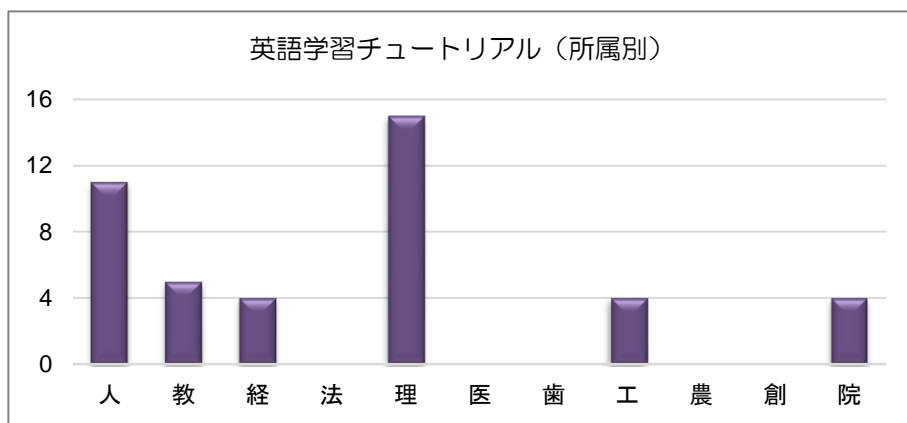




- 英語チャットを英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員やアドバイザーは介入せずに学生同士の自主性に任せている。ただし、ビギナーズ英語チャットでは、話のきっかけとなるよう学習アドバイザー作成のアウトラインやボード・ゲームが用意されている。
- 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして16名雇用した。内訳は、中国1名、ロシア1名、ドイツ2名、マレーシア1名、タイ1名、リトアニア2名、アメリカ1名、フランス3名、モンゴル1名、シンガポール1名、ジンバブエ1名、ベナン1名
- 今後の課題：
 - ・ グループのレベルを明示したことで、参加しやすくなったようである。今後の動向を注視したい。

●英語学習アドバイジング&チュートリアル (FL-SALC 内にて実施)





➤ 「英語学習アドバイジング（学習相談）」では主に英語の学び方を学ばせ、「英語学習チュートリアル（個別指導）」では特定スキルの習得に向けた個別指導を提供した。

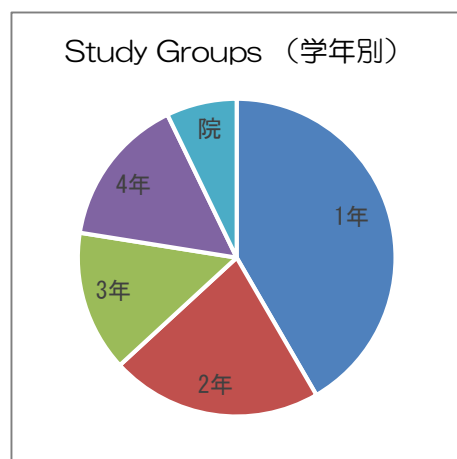
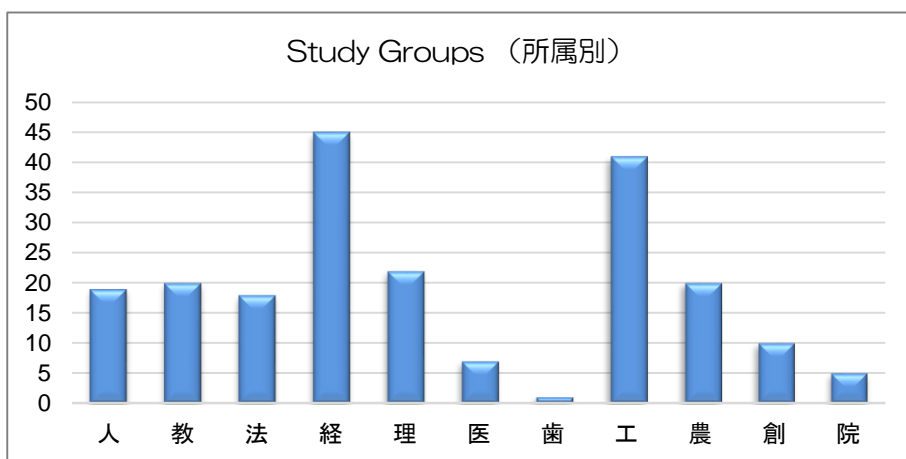
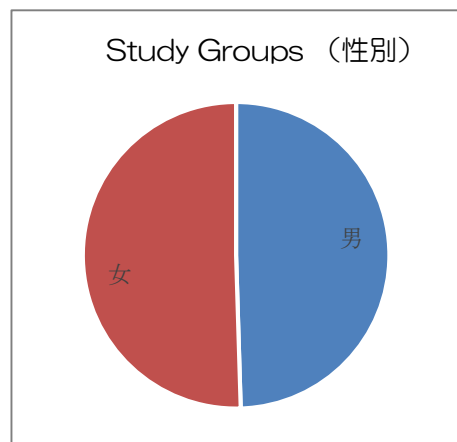
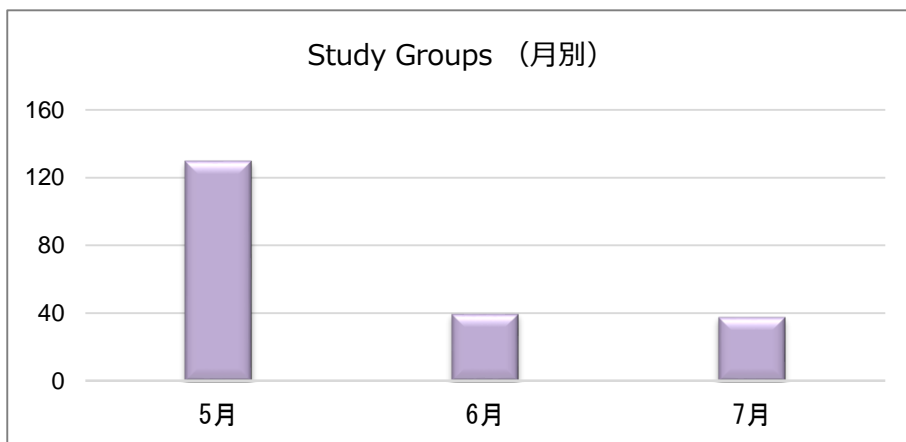
第1学期の主な相談・指導内容

●相談項目	4月	5月	6月	7月
1. TOEIC 対策	68%	59%	66%	59%
2. TOEFL/IELTS 対策	14%	11%	3%	4%
3. その他英語資格に関する質問（英検など）	11%	4%	0%	0%
4. 留学関連：留学先、留学のための学習相談等	0%	7%	9%	4%
5. スピーキングスキルに関する相談	4%	11%	19%	22%
6. リスニング/リーディングスキルに関する相談	0%	4%	0%	7%
7. ライティングスキルに関する相談	0%	0%	0%	0%
8. 目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	4%	4%	0%	0%
9. その他	0%	0%	3%	4%
計	100%	100%	100%	100%

➤ 今後の課題

- ・ 専任の英語学習アドバイザーが今学期末で退職することになっている。補充はされないため、来学期からは2名の英語教員が対応可能な時間帯に実施する予定。（夏季休業期間中の英語学習アドバイジング&チュートリアルは実施されなかった。）

●登録制 Study Groups（3階グループ学習室にて実施）



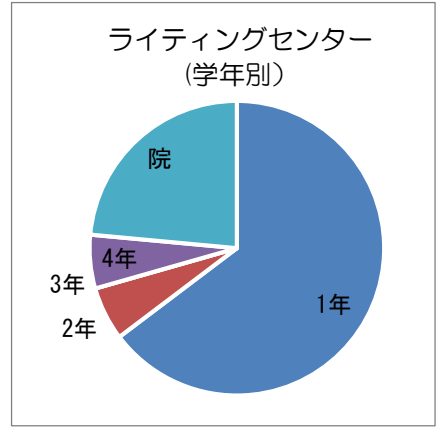
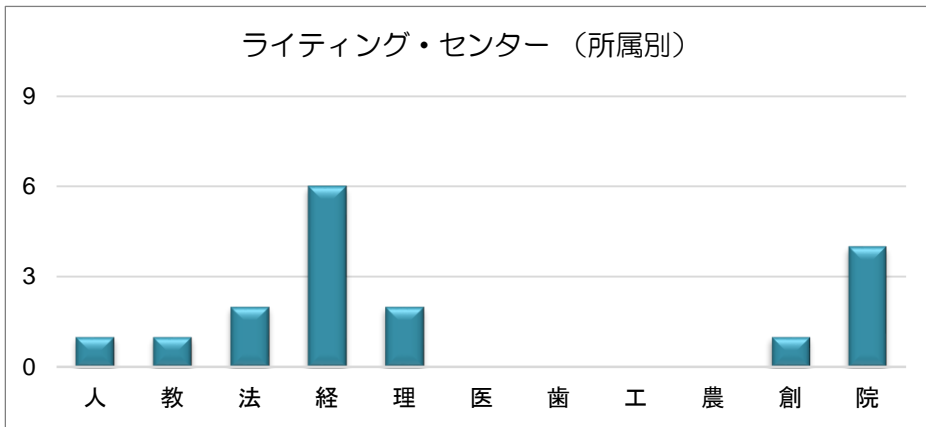
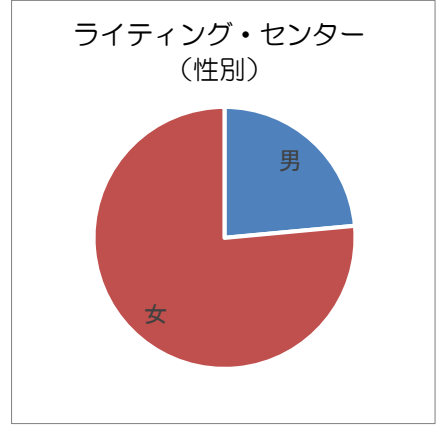
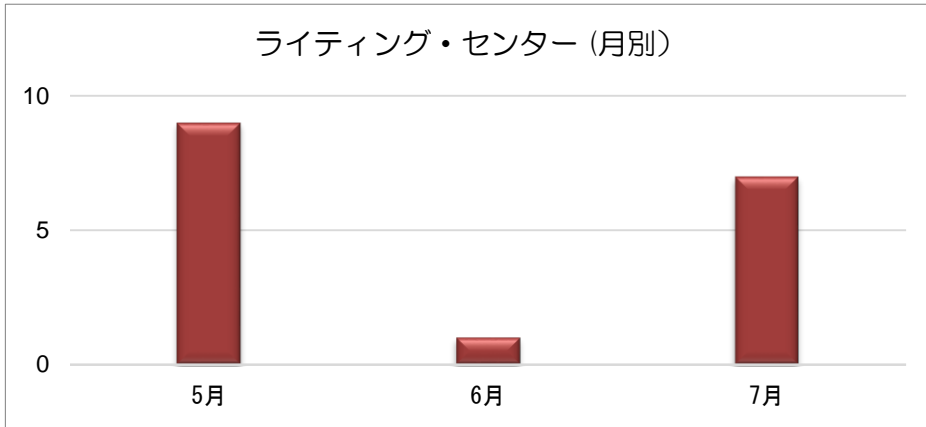
➤ 第1学期 Study Groups

- ・ 月曜 12:00-12:30 「楽しいリスニング学習」 (担当: 教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美)
- ・ 木曜 11:00-11:45 「基本的英文法講座Ⅰ」 (担当: 人文社会科学系准教授 秋孝道)
- ・ 木曜 11:55-12:40 「基本的英文法講座Ⅱ」 (担当: 人文社会科学系准教授 秋孝道)
- ・ 金曜 11:00-11:55 「TOEIC (準中級)」 (担当: 教育・学生支援機構准教授 奥村圭子)
- ・ 金曜 12:00-12:45 「目指せ! 基本英単語集中マスター」 (担当: 人文社会科学系准教授 平野幸彦)

➤ 今後の課題:

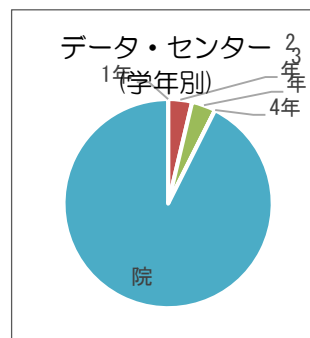
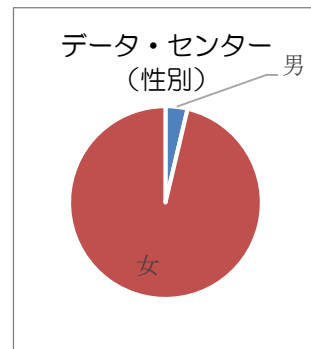
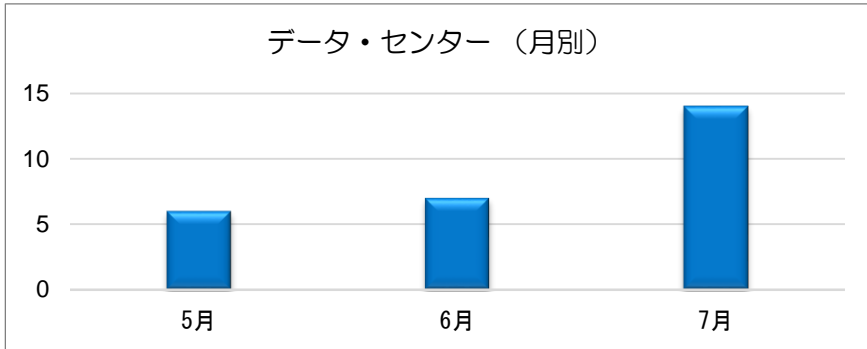
- ・ 学期の後半 (第2・第4ターム) になると、学部によってはお昼休みでも参加しづらくなるようである。

●アカデミック・ライティング・センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週火曜 11:00-13:00 にライティング指導を実施した。(担当:教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

●データ・サイエンス・センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週木曜 12:00-12:45 に創生学部と連携してデータ・サイエンス・センターを開設した。主な支援対象として想定していた創生学部の学生の利用はごくわずかで、代わりに大学院生の利用が目立った。(担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

2. 授業期間後の活動

●夏休み英語チャット (2019年8月19日～9月6日 11:50～12:45)

英語チューター 4名

参加者合計 91名

●英語学習アドバイジング (夏休み中実施なし)

8月利用者 0名

9月利用者 0名

●英語学習チュートリアル (夏休み中実施なし)

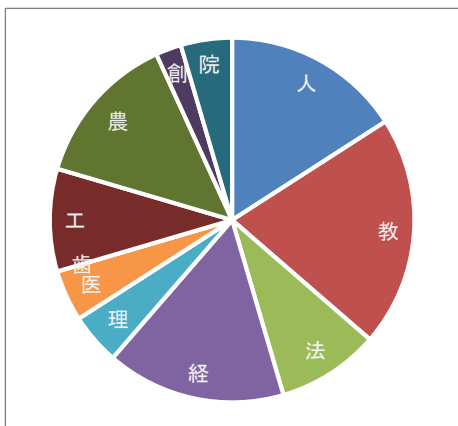
8月利用者 0名

9月利用者 0名

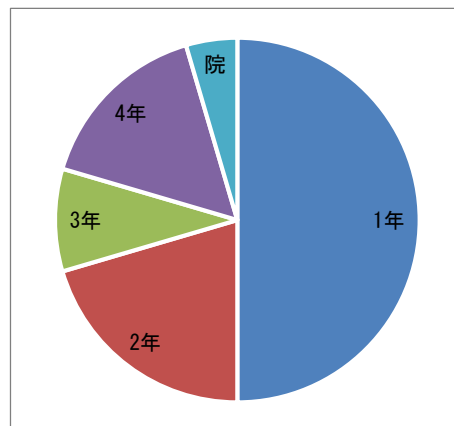
II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2019年7月実施、自由記述部分は原文のまま)

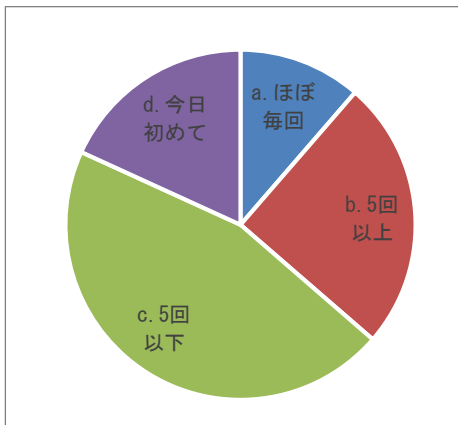
1. 所属



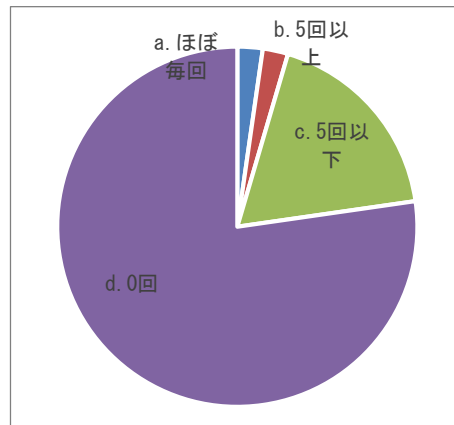
2. 学年



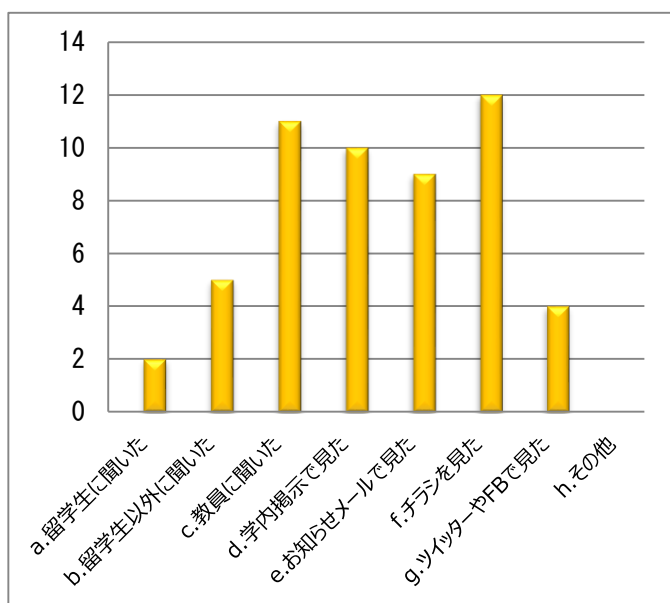
3. 今学期の英語チャット参加回数



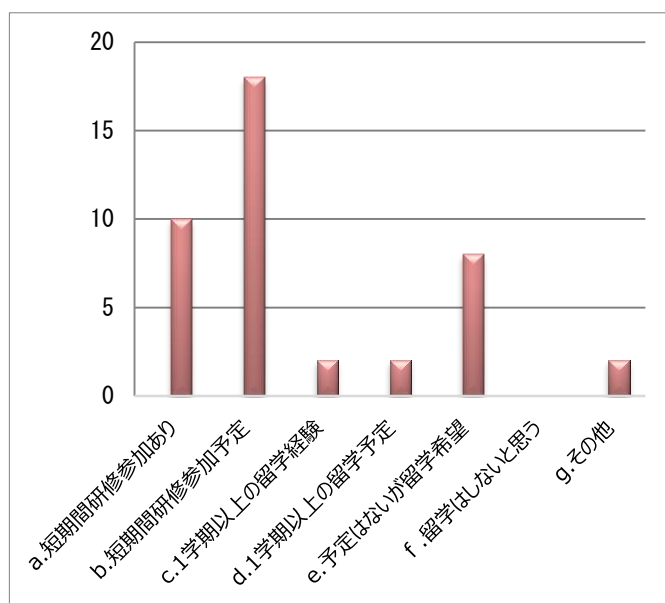
4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



5. 英語チャットを何で知りましたか？※複数回答



6. 留学をしたことはありますか？※複数回答



7. 英語チャットに参加した動機は何ですか？

<英語力強化>

- ・ 英語を話せるようになるため (2件)
- ・ 英語もっと話せるようになりたかったから
- ・ 英語力をつけるため
- ・ 英語をすらすら話せるようになりたいと思ったから
- ・ スピーキングを向上させたかったから (3件)
- ・ 語学力向上 (4件)
- ・ リスニング力、スピーキング力を上げたいと思ったから
- ・ 授業ではリスニングとリーディングしかないので話す力もつけたいと思ったから
- ・ 英語を会話レベルで話せるようになりたいから
- ・ 英語(英会話)がうまくなりたい
- ・ 英語を話して、コミュニケーションをとれるようになるため

<英語を話す機会>

- ・ 英語を使う機会が欲しかったから (6件)

<留学準備として>

- ・ カナダサマーセミナーに参加するから (3件)
- ・ 留学する前に少しでもスピーキングの練習をしたいと思ったから
- ・ 留学で必要だから
- ・ 夏休みに短期の留学に行くため (4件)
- ・ 夏に海外研修に参加するので不安だったから
- ・ 留学する前にあたって会話力をつけたいと思ったから

<その他>

- ・ 暇つぶし、研究活動の気分転換
- ・ TOEICの点を上げたい
- ・ 将来に役立てるため
- ・ 英語が好き (4件)
- ・ 課題のため
- ・ 大学院に行くのに英語が必要、海外の友達がほしいから

8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

- ・ スピーキングに役立つ
- ・ スピーキング (2件)
- ・ スピーキング力が少し上がった

- ・ 講義ではリーディングとリスニングのみで、スピーキングの練習はほとんどできないため
- ・ スピーキングの練習ができたという点
- ・ スピーキングの練習になる (2件)
- ・ 話すトレーニングをしてなくて、とても勉強になった
- ・ 実際に話す機会はあまりないため役立った
- ・ 積極的に話そうと思うようになった
- ・ 実際にネイティブと無料で話せる点
- ・ 実際に話す事とつさに思いつかない単語を確認できる
- ・ 「自発的に話す力を養わなければ」という動機付けになった
- ・ リスニングの勉強になった
- ・ 英語を聞き取れるようになったと思う
- ・ リスニング力が上がる
- ・ リスニングの向上 (2件)
- ・ リスニング、スピーキングの練習ができた
- ・ リスニング力とスピーキング力
- ・ リスニングや思ったことをすぐ話せるように練習できた
- ・ 実践的な英語を学べる
- ・ 実践的だった
- ・ 実際に留学生と話せること
- ・ 留学で役立つと思う
- ・ まだ分からない

9. 英語チャットは異文化理解の点から具体的に役立ちましたか？

- ・ 外国の文化を理解できる
- ・ どのような食文化の違いがあるか分かった
- ・ 自分の知らない国について知ることができる
- ・ 出身国が違うので生活背景も日本人とは違うものが多く学ぶことができた
- ・ 留学生の出身地域について知ることができる
- ・ 相手の文化を知れた
- ・ 様々な国の方がいる
- ・ 他の国の文化について知ったり、留学経験について役立つ情報を得ることができた
- ・ 普段の生活を知れる
- ・ いろいろな国の人と交流ができるのでよい
- ・ 留学生の国の文化がわかった
- ・ 価値観の違いなどを知れた
- ・ 感受性の違いなど会話でしか分からないことも知れた
- ・ 他の文化を知るきっかけになったと思う
- ・ 様々な文化を学べる
- ・ 英語でのコミュニケーションにおいて海外の文化を知ることが大切だと思った

- 留学生の出身国の話を聞くのが楽しかった
- お互いの文化をより知ることができる
- お互いの文化を説明できた
- 様々な国について知ることができる
- 知らないことが多くて知識、理解に役立った
- 考え方や言葉の発音（Lなど）
- 話すことで他国の文化などを知れた
- 店の名前の違いなどがあることをしった
- 他国についてしることができた
- 自己紹介でお互いの国のことを話せて知ることができる
- 他の文化のことを知れたし、海外から見た日本を分かった
- 様々な国の文化について知ることができたことと、日本について知らないこと
- 答えられないことがあったため、日本について学ぶべきだと感じた
- 日本についてしることができる（意外と留学生の方が詳しい）
- 日本のいいところも知れる
- 海外から日本の魅力に気づけた
- I know we lot about everything
- 役に立った
- まだ分からない（2件）
-

10. 英語チャットに参加して困ったことは？

- 人が多く十分に話せない時があった
- 人数が多いときに一人にかかる時間が必然的に減ってしまう点
- 特定の人だけが話してしまう
- shyになったこと
- 言いたいことがスラスラでてこなかったとき
- 自分の思っていることを100%伝えられないこと
- うまく英語で話せないことがあった
- とっさに英語がでてこなかった
- うまく英語がでてこなかった
- 久々に英語を話したので大変だった
- 会話が續かない
- 想像以上に自分のスピーキング、リスニング力が低くて困った
- 初級でも難しくて聞こえないこともあり少し困った
- 聞きとれないことはよくあります（2件）
- 英語が苦手なため何度もききかえしてしまったこと
- もっと勉強します
- なし（8件）

- ・ 特にありません (9件)

11. 英語チャットを有意義なものにするアイデアは？

- ・ もう少し少人数で受ければよいと思います
- ・ 宿題的なものを課す。
- ・ 話したいトピックを考える
- ・ **Topic** や話す内容をあらかじめ決める (バリエーションふやし)
- ・ ゲームをたくさんするともっと楽しい
- ・ なし (4件)

II. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

(2019年7月実施、16名中15名回答、自由記述は原文のまま)



質問（自由記述）：

- (a) What were your reasons for applying for the English Language Tutor position?
- (b) How has the experience as an English Language Tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English Language Tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do you have any suggestions?

英語チューター1

- (a) As graduate school student I don't have many options of taking English classes, so chats are good opportunity to stay in "shape"
- (b) Made me more adaptive and communicatable, I guess
- (c) Nothing in particular
- (d) For level 1 chats we have those beautiful sheets with topics and questions listed, and this is very convenient. But sometimes there are really low level students, so it is difficult and takes much time to explain them the meaning of some words used in the list. Wouldn't it be of help to make same format sheets with vocabulary both in English and Japanese?

英語チューター2

- (a) I want to communicate with Japanese students to know more about the culture and their mindset. Also I want to make friends to learn Japanese language while helping them to learn English more and more.
- (b) I got to know many students on this campus. They are very friendly that I started to feel very comfortable with my life in Niigata.
- (c) Overall, I'm very satisfied being an English language tutor. I don't have anything to complain.
- (d) I believe being more open to students help them to talk even more free.

英語チューター3

- (a) Exercise my skills of M.C. Being able to organize discussions where everybody will have the same chance to speak.
- (b) Learn to listen to more and try to understand other people thoughts and way of thinking. Making me know again that I should not judge people.
- (c) Nothing
- (d) Sometimes instead of just asking questions, it will be good to make case study in level 3. Case Study → Take an event that happened really and ask the participants to give their opinions and how they would have solved problems that happens. Sometimes the clear file ideas where really simple for the level 3. Or we make a level 4 that is reserved for more complicated tasks and researches. Ex: An enterprises has some advertising problems, what ideas can you give to this enterprises and why?

英語チューター4

- (a) I wanted to help Japanese students to improve their English and it's a good and easy opportunity to earn money while studying in Niigata.
- (b) It had helped me to understand Japanese culture more and I think I also got way more patient.
- (c) Sometimes it was hard to find a topic that everybody could talk about and that you could have a discussion about that lasted for longer time.
- (d) No, I do think the Chat is very well organized and there is nothing left to improve.

英語チューター5

- (a) It is an opportunity to meet many Japanese people and understand their way of thinking, to get to know culture more deeply.
- (b) It has broaden my mind about the differences of cultures and people and, I think, made me more tolerant and emphatic.
- (c) It was sometimes hard to “make” participants speak, but I think I trained my patience muscle :)
- (d) Maybe encourage participants to prerapre some questions and topics they want to talk about, because some of them are shy to iniciate conversation, so they have to follow the tutor.

英語チューター6

- (a) I have had quite a good experience being an English Chat tutor before, so that's why I wanted to do it again.
- (b) It has helped me got in touch with people interested in learning English.
- (c) There really wasn't any thing I didn't enjoy. But it was kinda difficult to have different level students in a chat.
- (d) Giving the students an understanding of their level from the start is very useful and should probably be used in the future.

英語チューター7

- (a) I wanted to earn some money on the side and I found it meaningful last semester to help Japanese students improve on the English.
- (b) It has helped me better appreciate the difficulties in facilitating these type of group discussion
- (c) I think that it became very repetitive after a while as the same people attended the sessions and the topics we discussed did not end up being very interesting (at least to me).
- (d) n/a

英語チューター8

- (a) I wanted to interact more with Japanese students in order to get a better understanding of their way of life so that I would have better interactions with Japanese outside FL-

SALC. Through language exchange program activity in the international volunteers club I had acquired knowledge about different cultures so I was confident that through fl- salc I would increase knowledge of not only other cultures but also mine.

- (b) Most of chats students wanted to know about me and my culture so I became more aware of my own culture.
- (c) I think the whole experience was amazing
- (d) n/a

英語チューター9

- (a) Because it was a really interesting way to make friend, improve my english and earn money.
- (b) I probably improved my english.
- (c) Sometimes it was very hard to talk to some people, who were really shy.
- (d) No.

英語チューター10

- (a) I applied because I wanted to meet people and to learn about japanese culture and society.
- (b) It helped me to try to express myself as clearly as possible to be understood. And also to hold a conversation as interesting as possible to keep students' attention and make them want to come back.
- (c) Sometimes, some students didn't want to talk because they didn't trust their abilities or were afraid to make a mistake. I would have like to find a solution to push them to express themselves and overcome their fears. But most of the time they were a bit out of the conversation and I felt bad for them.
- (d) I think that splitting the english chat levels into three groups was a very good solution. The 1st group (beginners) brought new students and they seemed more interested compared to the previous semester. I think it would be nice if the next tutors make the most shy students feel more comfortable and convince them that it is by making mistakes that progress are made.

英語チューター11

- (a) To keep my own English ability good and be able to communicate, and to make friends with other people.
- (b) It helped me to be able to learn more about how people learn language, if I didn't do this job it would be impossible for me.
- (c) Nothing. I enjoy every bit of it.
- (d) More space...maybe... Sometimes lots of people come and we didn't have enough space for them to join.

英語チューター12

- (a) I was interested in working as a tutor, because I never tried that before.
- (b) I found many new friends and by speaking English more frequently my skill got better as well.
- (c) I need to say, that I didn't enjoy the system of the chat I did in my first semester at Niigata, but the new system is very good, so I don't have anything to complain about.
- (d) Maybe more space for the level 1 chat, because sometimes there were not enough tutors for level 1 and the people who wanted to do level 1 needed to do a mix between level 1 and 2.

英語チューター13

- (a) Since I am doing this chat for second semester in a row, my reasons remain the same as it was in last semester (to get to know japanese students and to get some communicating/teaching experience)
- (b) Firstly, this experience helped me to learn more about japanese students, their daily lifes and just how young japanese society works. Also, I had really pleasant experience, that helped me to get close with some people and become good friends. Moreover, it helped me to polish my English language skills too, because you need to be ready for any question or situation that might come up.
- (c) So far I haven't had bad experience, maybe just people coming 20 or 30mins late, gets you a bit of a rail, but besides that everything went smoothly.
- (d) The weekly reflections are quite useful, but at the same time there is not that much use from them. Especially when you have mostly higher level students (3 or sometimes even 2), because when you are being in charge of higher level groups, most of the time you only need to prepare a topic, curate it and help participants to keep on going with the topic. With lower levels you need to be more patient and be able to bring something new every week, that would keep interest of those who have lower language proficiency level. Instead of same questions every week I would suggest variety of questions that would, reflect onto what tutor and participants did that week.

英語チューター14

- (a) I wanted to have an opportunity to interact more with Japanese students, as well as help students with English from a native speakers perspective
- (b) It has helped me to better understand the difficulties Japanese students face when attempting to speak English. It has taught me more about Japanese culture. It has given me the opportunity to make some good friends.
- (c) No complaints really 😊 Would've liked to have more hours, but I am aware that we had many tutors this year so I certainly understand.
- (d) I think that the tutors could all benefit from having group meetings maybe once a month. I think it would be helpful to describe our experiences in Chat, what worked and what didn't.

英語チューター15

- (a) The main reason is for money, but also it can help me to improve my speaking skill.
- (b) It helped my to improve my English speaking skill, and helped me to learn about different cultures.
- (c) I did not have any uncomfortable experience during the English chat.
- (d) I hope more students can come to the English chat.

教育・学生支援機構グローバル教育センター ハドリー浩美
学務部教務課 (FL-SALC アシスタント) 江部早苗